

青森県の気候に適したアラゲキクラゲ新品種の開発

－ 夏の栽培に向くきのこ －

林業研究所

「アラゲキクラゲ」は気温の高い夏に発生することから、シイタケ等のきのこの生産が落ち込む夏場の栽培品目として注目されています。そこで、夏季冷涼な本県の気候に適した品種の開発に取り組み、**アラゲキクラゲの新品種「青AK1号」**を開発したので、この品種の特徴について紹介します。

なお、「青AK1号」は「青森きくらげ」の名称で市販されています。

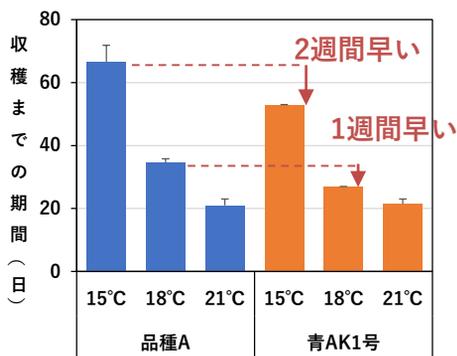
アラゲキクラゲってなに？

「アラゲキクラゲ」は、キクラゲ目キクラゲ科キクラゲ属のきのこで、その名のとおりクラゲに似た食感をもつゼラチン質のきのこです。同じキクラゲ属の「キクラゲ」とよく似ていますが、キクラゲよりも身が固く、こりこりとした歯ごたえが特徴で、背面に毛が密にある点で見分けることができます。



「青AK1号」の特徴

✓低温下での生育が市販品種よりも早い



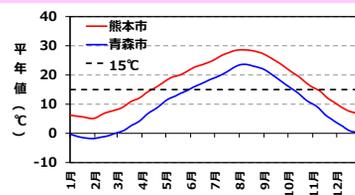
低温下（18°C以下）では市販品種より早く収穫可能

品種A 青AK1号



18°Cの室内での栽培状況（栽培25日目）

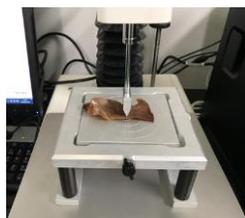
青森県は南方に比べ栽培に適する期間が短い
→低温に適した品種が必要



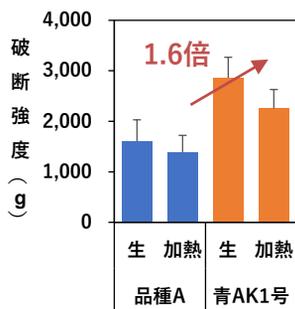
青森市と熊本市の平年値

出典：農研機構・農環研 メッシュ農業気象データ

✓きのこの歯ごたえが市販品種よりも強い



歯ごたえ（破断強度）を機械的に計測



✓きのこの色味が市販品種よりも明るい



利用にあたっての留意事項

- ◆ 「青森きくらげ」の生産・販売振興会が発足し普及を進めています。
- ◆ 種菌又は菌床の入手及び栽培方法については、林業研究所に問い合わせください。

お問い合わせ

林業研究所 森林資源部 (Tel.017-755-3257)